



最初にご確認ください。	マウス本体	1台
	ドライバディスク(8cmCD)	1枚
	変換アダプタ(USB-PS/2)	1個
	取扱説明書	1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。  
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

2	はじめに
	警告
	マウスの接続(Windows用)
	・対応機種
	接続する前に必ずお読みください。(Windows用)
	・本製品をUSBポート接続時の注意
	・BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合
3	オプトスクロールマウスの接続 (Windows用)
	・マウスの接続
	・USBポート接続の場合
	・PS/2マウスポート接続の場合
5	ソフトウェアのインストールをする前にお読みください。(Windows用)
	・内蔵ポインティングデバイスの初期離し
	ソフトウェアのインストール 必要に応じて(Windows用)
8	ボタンの特長
9	マウスソフトウェアの特長(Windows用)
	・スクロールソフトウェアを開く
	・マジックローラー
	・ポインタ
	・カーソル
	・アクション
	・Easy Jumpの特長
	・モード
	・バージョン情報
	・方向
	・スクロールのインストール
12	ドライバソフトのインストール (Mac OS用)
13	MouseToolコントロールパネル (Mac OS用)
	ドライバソフトのアンインストール (Mac OS用)

はじめに

このたびは、オプトスクロールマウスbiffをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本製品は、ボールを使わないオプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方  
にプラスして、ひざの上などで操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボ  
ールを使わないので、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことが  
ない、メンテナンフリー構造になっています。

マウスのスクロールを回転、クリックさせる  
だけで、Windows上で簡単に画面スクロ  
ールが行えます。また、本製品は、イ  
ージョン、オートPC、ズームなどのアプ  
ケーション・コマンドをサイドボタン等に  
付けますので幅広いバージョンが可  
能となります。

ご購入前にこのマニュアルをおよみか  
ださい。また、お手元に残し、いつでも確  
認できる様にして置いてください。



警告

テレビジョンの受信機について  
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の電圧の上、FCC-15章の規定内容に適合  
するものとして設計されています。FCC-15章は任意性規定となっており、必ずしも受信機の感度率を定めたものではありませんが、電圧  
の設置状況によっては電磁障害が発生する場合があります。  
ご使用するコンピュータシステムが受信機を有していない場合は、そのシステムが電磁波を発生してご使用の機器に干渉する  
電源を発生することにより受信機が動作不能になる場合があります。その周辺機器の電源線などをご確認ください。  
ご使用するコンピュータシステムがテレビジョンの受信機に接続している場合は、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを  
組み合わせて実施してください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信機の感度しない位置を探してみてください。  
テレビまたはラジオが接続されたケーブルコネクタを短絡し、または、その周辺機器の電源線などをご確認ください。  
テレビまたはラジオとは別の電源供給線にあるコネクタにコンピュータを接続してください。  
電源線が、テレビまたはラジオの電源線とは別の電源線に接続してください。

注  
本製品は、許容可能な変更または追加加工された場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませ  
んのでご注意ください。

マウスの接続 (Windows用)

対応機種

本製品は、下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のもをご使用ください。  
各社DOS/V(パソコン) CPUはペンティアム以上)、Apple iMac/iBookシリーズ、  
Power Mac G4/G3シリーズ。但しUSBポートもしくはPS/2マウスポート  
を持つ機種。 機種により対応できないものもあります。

対応OS  
USBポート接続/Windows XP、2000、Me、98Second Edition、98  
PS/2ポート接続/Windows XP、2000、Me、98Second Edition、98、95、  
NT4.0 (SP3以降)

接続する前に必ずお読みください。(Windows用)

本製品をUSBポート接続する際の注意(USB接続の場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作し  
ない場合、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかを確認してください。  
「スタート」「設定(9)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デ  
バイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコント  
ローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。  
USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、  
または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデ  
バイスがなにも見つからない場合、マザーボードの  
BIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認して  
ください。一部の機種ではファクトリ状態でUSBポ  
ートの使用不可が設定されています。また「ユニ  
バーサルシリアルバスコントローラ」のペンタ  
グラム名、デ  
バイス名はマザーボードによって異なることがありま  
す。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マ  
ザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

接続する前に必ずお読みください。(Windows用)(続き)

BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合(USBの接続場合)

BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。  
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な  
設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

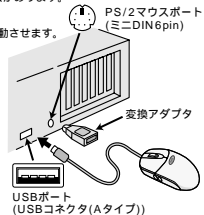
オプトスクロールマウスの接続 (Windows用)

注意：ドライバソフトをインストールする前にマウスを接続してください。  
インストール前に他のアプリケーション等を外しておくことをお勧めします。

マウスの接続

本製品はUSBインターフェイス及びPS/2マウスインターフェイスに対応したコンポ  
タイプのマウスですので、接続には2通りの方法があります。

- ・USBインターフェイスによる接続  
1. コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。  
2. 本製品をコンピュータのUSBポートに  
接続します。
- ・PS/2マウスポートによる接続  
PS/2マウスポート接続の場合、注意することが  
ありますので、6ページを参照の上接続してください。  
1. コンピュータの電源を切ってください。  
2. コンピュータに接続されているマウス  
が他のものであれば、取り外しください。  
3. 付属の変換アダプタを使用し、本製  
品をコンピュータのPS/2マウスポート  
に接続します。  
4. コンピュータの電源を入れ、Windows  
を起動させます。



詳細な設定については、後ほど説明します。接続の際、コネクタには上下がありますので  
注意してください。

一部の直連式FMVノド、IBM ThinkPadなどポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコン  
には、制御機能のないタイプ及びDEC PC98-NXデスクトップ(パソコン)など、USBキーボード  
にPS/2マウスポートが内蔵されている(パソコン)には、USBポートまたは接続により対応しています。  
マウスをパソコンに接続した際、またはパソコンを立ち上げた際、マウス裏面のLEDが3回発光し  
ますので、その際はマウスを動かさないでください。

USBポート接続の場合

コンピュータの電源を入れ、Windows Me/98等をご起動させます。  
本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。  
自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのワイザード  
が起動します。  
あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

新しいハードウェアの追加ワイザード

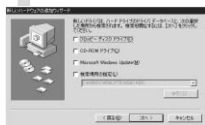


新しいドライバを検索しています。  
USBヒューマンインターフェイスデバイス  
----- 次へ

## オプトスクロールマウスの接続 (Windows用) (続き)



検索方法を選択してください。  
• 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ



新しいドライバはハードドライブのデータで、次の選択した場所から検索されます。チェックボックスにチェックマーク (✓) を入れずには、次へ  
もし検索場所を聞いてきたら  
✓ 検索場所の設定 (L)

C:\WINDOWS\OPTION\$¥INF

もしは、C:\WINDOWS\OPTION\$¥CABS  
もし、上記の検索場所ドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、  
✓ CD-ROMドライブ (C) にチェックを付けてください。



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。  
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ



USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 完了

Windows 2000では、上記インストール方法と多少異なります。

## オプトスクロールマウスの接続 (Windows用) (続き)

PS/2マウスポート接続の場合  
マウスを接続する前に、内蔵ポインティングデバイスを切り離してください。  
タッチパッド等のポインティングデバイスは、外付けPS/2スクロールマウスと併用することはできません。代表的な設定の例を下記にて説明しますが、詳細につきましては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・

SHARP Mebiusシリーズの場合

1. 起動時、NEC ロゴ等が表示されている時に「F2」キーを押してください。

2. 詳細 NX/パッドを自動にしてください。

以前の機種では、使用する/使用しないの選択項目になっていますので、「使用しない」にしてください。

ソニー VAIOシリーズの場合

コントロールパネル Notebook Setupにてタッチパッドを使用しないように設定してください。

東芝 Dynabookシリーズの場合

スタート プログラム 東芝ユーティリティあるいは、

ハードウェアセットアップ ハードオプシオン ポインティング装置で自動あるいは手動にしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合

ThinkPadユーティリティでトラックポイントを使用しないに設定してください。

コンピュータの電源を切ってください。

コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。

別売りの交換アダプタを使用して、本製品をコンピュータのPS/2マウスポートに接続します。接続方法についてはページを参照してください。

コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動させます。

これでマウスは使えるようになりました。

## ソフトウェアをインストールする前にお読みください。(Windows用)

重要 (必ずお読みください)

これでごマウスは使えるようになりました(WindowsNT4.0及びWindows95を除く)。付属のソフトウェアをインストールしなくても、マウスの基本的な機能は使えます。もしイメージジャンプ、ボタン割り付けの特別な機能を使いたい場合は、ソフトウェアのインストールが必要になります。

### 内蔵ポインティングデバイス用ユーティリティの切り離し

<USB接続の場合>

本製品添付のドライバは各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを削除するか、添付ドライバをインストールしないでお使い下さい。

各ユーティリティによって削除方法が異なります。以下をご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合

デバイスマネージャ マウスでNX/PADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。

途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をインストールしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合

アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をインストールしてください。

## ソフトウェアをインストールする前にお読みください。(Windows用) (続き)

Compaq Armadaシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。  
途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

以上で準備は終わりです。ドライバのセットアップを開始してください。

<PS/2接続の場合>

本製品添付のドライバは各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを削除するか、添付ドライバをインストールしないでお使い下さい。  
各ユーティリティによって削除方法が異なります。以下をご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合  
デバイスマネージャ マウスでNX/PADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。

途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。  
東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。

Compaq Armadaシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。  
途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

その上、ノートパソコンなどの場合、内蔵のポインティングデバイス(タッチパッドなど)が動かないか確認してください。動かなければ準備は終了です。ドライバのインストールを開始してください。

内蔵ポインティングデバイスが切り離されていない場合

各マシンによって設定方法が異なります。以下を参考にしてください。

NEC、富士通、シャープ、パナソニック製PCの場合

起動時にF2キーを押し、BIOSセットアップで内蔵タッチパッド(Internal PS/2 Mouse)をAutoあるいはDisableにしてください。

ソニーVAIOシリーズの場合

コントロールパネルNotebook Setupにて内蔵ポインティングデバイスを使用しないにしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合

ThinkPadユーティリティでトラックポイントを切り離してください。

## ボタンの特長

### 左ボタン

左ボタンは一般的なマウスボタンと同じ使用です。例えば、クリック、ダブルクリックなどです。

### 右ボタン

Windows 98 / 95でのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きもを行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。

### マジックローラー(ホイール)

インターネットとWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このマジックローラーを前後に回転させて使います。

### マジックローラーボタン(ホイールボタン)

キーボードとマウス両方で頻繁に使う操作を、このマジックローラーボタンに記憶させることができます。例えば、イーजीジャンプ、オートパン、ズームなどが行えます。

### サイドボタン

キーボードとマウス両方で頻繁に使う操作を、このサイドボタンに記憶させることができます。例えば、イーजीジャンプ、オートパン、ズームなどが行えます。

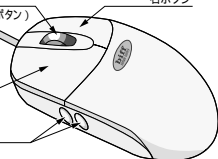
マジックローラー(ホイール)

右ボタン

マジックローラーボタン(ホイールボタン)


左ボタン

サイドボタン



## マウスソフトウェアの特長 (Windows用)

### スクロールソフトウェアを開く

スクロールコントロールパネルの開き方は、画面右下のタスクトレイに出ているスクロールマウスアイコンをダブルクリックしてください。

もしくは、「スタート」「設定」「コントロールパネル」から「マウス」アイコンをダブルクリックしてください。



マウスアイコン



## マウスソフトウェアの特長 (Windows用)(続き)

### <マジックローラー>



### <ポインタ>



### <カーソル>



### ブラウズするスピード

インターネットやWindowsでドキュメントを使う場合、ブラウジングスピード(スクロールのスピード)を調節できます。

### ブラウズする方向

マジックローラーを前に動かすとドキュメントの初めにスクロールします。逆転を選択するとドキュメントも逆方向に動きます。

### LED設定

ホイールとロゴのLEDのON/OFFを設定します。

### ポインタフォルダ

カーソルの形を変えることができます。

### ボタン検出

ダイアログボックスが画面に出て来た時、自動的にカーソルがボタンに移動します。

### ポインタの軌跡

このオプションにより、液晶画面上で簡単にカーソルを発見することができるようになります。モニタがこれをサポートしていない場合は使用不可可能です。

### ループ

カーソルを画面の上か下に移動させると自動的にカーソルも上か下に移動します。

## マウスソフトウェアの特長 (Windows用)(続き)

### <アクション>



### <設定>



### マウスの速度

カーソルのスピードの調節ができます。

### ボタンを逆転

右と左のボタンを切替えたい場合はここで設定してください。

### ダブルクリックの速度

ダブルクリックのスピードの調節が出来ます。

ボタン割り当て  
スクロールマウスは頻繁に使うマウス・ドキュメント・ウィンドウの機能を記憶させることが出来ます。さらに特別な特長として、イーजीジャンプ、オートパン、ズームなどの機能も記憶させることが出来ます。これは、ボタンをクリックすると画面に機能のリスタアップが出てくるので、ここで例えばイーजीジャンプの機能を選ぶことができます。

## Easy Jump(イーजीジャンプ)の特長

このイーजीジャンプで8つの特別な機能を簡単に選ぶことが出来るようになります。



アプリケーションの終了。  
カーソルが水平スクロールバーに移動します。  
カーソルが垂直スクロールバーに移動します。  
Windowsスタートメニューを開きます。  
ブラウザを開きます。  
ヘルプメニューを開きます。  
スクロールマウスのコントロールパネルを開きます。  
オートパンニングマウスを動かすと、その方向にドキュメントがスクロールされます。  
ここで設定してください。

## マウスソフトウェアの特長 (Windows用) (続き)

アプリケーション:

右ボタンをSwitch APIに設定すると、マウスを動かすことなく開いているアプリケーションから他のアプリケーションに早く移ることが出来ます。アプリケーションを選択する場合は右ボタンを押しながらマックローラーを押してください。アプリケーションセレクトがでくるので簡単に選択できます。

ズーム:

Office97用、IE4.0アプリケーションのズーム機能  
Office97を押しながらマックローラーを前か手前に動かすとズーム機能により、前だと、拡大、手前だと縮小されます。この機能は片手で使うことが出来ます。例えば、右ボタンをCtrl機能に設定し、右ボタンを押しながらマックローラーを前または手前に動かすとドキュメントウィンドウの拡大、縮小ができるようになります。

パン:

この機能はボタンアサインメニューで設定することが出来ます。マウスを動かすとドキュメントがその方向に移行します。

モード

「Office97モード」は、Microsoft Intelli Mouse同様の機能になり、

「Scroll Mouseモード」は、eマウス特有の機能で、スクロールバーを持つアプリケーションをサポートしています。

<バージョン情報>



スクロールマウスドライバのバージョン  
がわかります。

## マウスソフトウェアの特長 (Windows用) (続き)

<方向>



方向の設定

この機能でマウスの方向の調節  
が出来ます。  
これにより楽に方向を決めること  
が出来ます。

### マウスソフトウェアのアンインストール

下記で記した内容に従ってください。  
画面右下のスクロールマウスアイコン を右クリックし「Scroll Mouseを閉じる」を選択してください。スタートボタンをクリックし、「プログラム(P)」を選び「Scroll Mouse」まで移動させてください。「Scroll Mouseのアンインストール」を実行してください。

## ドライバソフトのインストール (Mac OS 8.6 ~ 9.2.2用)

本製品の右ボタンや真ん中ボタン、スクロール機能を動作させるには、付属のドライバソフトをインストールする必要があります。下記にしたがってドライバソフトをインストールしてください。

このドライバソフトは、MAC OS X以降には対応していません。

Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、アドレスブック及びFinderなど、OS標準アプリでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。また、ホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

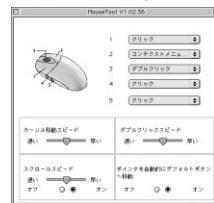
本製品を、USBポートに接続してください。  
マウスドライバ(CD-ROMを、CD-ROMドライブに入れます。  
デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンをダブルクリックして開きます。  
フォルダが3つ表示されます。3Bフォルダをダブルクリックしてください。  
「Install MouseTool Driver」をダブルクリックしてください。  
「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。  
インストールが完了したら、「再起動」をクリックし、Macintoshを再起動させてください。



PowerBook, iBookでは、機能拡張マネージャでトラックパッドのチェックをはずしてください。

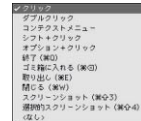
## MouseToolのコントロールパネル (Mac OS 8.6 ~ 9.2.2用)

インストール、再起動後にMouse Toolが使用できます。  
アップルメニューから「コントロールパネル」→「MouseTool」を選択してください。  
以下の画面が表示されます。



各ボタンに機能を割り当てます。  
**1** ボタンをクリックすると選択リストが表示されます。

割り当て可能な機能は以下の通りです。



カーソル移動スピード  
スライダを動かすとカーソルの移動スピードを調節できます。  
スクロールスピードオン/オフ  
スライダを動かすとスクロールのスピードを調節できます。  
オフにするとスクロール機能は使えなくなります。  
ダブルクリックスピード  
スライダを動かすとダブルクリックの許容速度を調節できます。  
ポインタを自動的にデフォルトボタンへ移動  
ダイアログボックスが表示されたときに自動的にデフォルトのボタン上にカーソルを移動します。

## ドライバソフトのアンインストール (Mac OS用)

マウスドライバCD-ROMを、CD-ROMドライブに入れます。

デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンを開き、  
3Bフォルダ内の「Install MouseTool Driver」をダブルクリックしてください。

「アンインストール」ボタンをクリックすると、アンインストールが開始されます。

アンインストールが完了したら、「再起動」をクリックし、Macintoshを再起動させてください。